



## 夏の使者

運動会が終わった学校に夏の使者（つばめ）がやって来ています。

左の写真は職員玄関にできている巣です。この場所には以前から巣が作られていて、今年も、ひながもうこんなに大きくなっています。



【どれが親鳥か分からない！】【器用に作ってびっくり！】

まもなく巣立ちかな、とっていたら、右の写真のように東昇降口にも新しい巣が作られていました。これは、まさに巣作りの真っ最中の写真ですが、その後わずか数日で、もう左のような立派な巣になってきています。子供たちも「かわいい〜」と、観察中です。昇降口の出入りには、ツバメからのプレゼント（落とし物）に注意しましょうね。

## 運動会の結果～白組の勝ち！～ 紅組 135点 白組 145点

29日（月）お昼の放送で伝えられました。

「運動会は、前日までが勝負。」先生業界？では、このように言われます。

本番までにどれだけ子供たちができることを増やしていくか。子供たちの輝く場所を作るか…。そのためにどれだけ子供たちと関わることができるか。

当日は、子供たちが自分の役割をきちんと理解して、先生の指示などがなくても自分から動けるようにする。先生は目立たずに、にこにこして見ているだけ、ぐらいいなれたら最高！そんな中でも、「ここぞ！」という時や場所にはちゃんというように自分の指導観を高めていくようにしたい、とされています。

もちろん、低学年では黙って話を聴くことさえ難しいものです。整列するにもかなりの時間をかけて指導します。運動が好きな子ばかりではないので、なんとか精一杯できるようにあれやこれやと声をかけたり仕向けたりしますが、うまくいかないこともあり、なかなか難しいものです。それでも、徒競走の練習で友達を応援する「がんばれ！」という声が聞こえたり、ダンスの練習で楽しそうに紅潮した表情の子供たちと一緒に踊り、汗をかいたりすることは、子供たちと一緒に作り上げる喜びとなります。こういったことも教師の仕事の醍醐味です。目の前でめきめきと腕をあげて、できるようになったり上手になったりしていく子供たちの表情や取組を見られることは、何よりの喜びです。お互いに様子を見て称賛し合う姿も見られます。認め合い、励まし合う子供たちの姿を見ることができると嬉しいことです。そして、こういった時間は、若手の先生たちには、『先輩の指導法』を学ぶ機会ともなっています。いかがでしたか？改めて、本校の運動会とは？

